



ごさまる通信

この一行に逢いにきた

2024・第78回読書週間標語より



読書週間の歴史

終戦まもない1947年(昭和22)年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

引用 公益社団法人 読書推薦運動協議会 HP
<http://www.dokusyo.or.jp/jigyo/jigyo.htm>



新着図書もどんどん入荷してます!

タイトル	著者	請求記号・資料番号
はじめてのたしざん	まっいのりこ さく	E ハ (I300331160)
じょうず じょうず	まっい のりこ／作・絵	E ジ 赤ちゃん(I300331152)
ねぼすけこびと	まっい のりこ／脚本・絵	C ネ (I300331277)
大切な人が認知症になったら最初に読む本	山村 基毅／著	493.7 ヤ (I200274023)
投資ゼロで老後資金をつくる	長尾 義弘／著	591 ナ (I200274064)
魔者	小林 由香／著	913.6 コ (I200273579)
タブー・トラック	羽田 圭介／著	913.6 ハ (I200273652)
少女マクベス	降田 天／著	913.6 フ (I200273793)

11月開館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	②
③	④	5	6	7	8	⑨
⑩	11	12	13	14	15	⑬
⑮	18	19	20	21	22	⑳
㉑	25	26	27	28	29	㉓

平日は 19 時閉館 ○は 17 時閉館

■は休館日

おはなし会は
まいつきだい にちようび
毎月第2日曜日です！

★おはなしかい★

11月10日（日）

じかん…10：30～

ばしょ…1かいおはなしのへや

おはなし会は、何歳からでも、どなたでも
ご参加いただけます。

参加費や申込は必要ありません。

どうぞお気軽にご参加ください♪

🍁🍁🍁🍁🍁 今月の特集コーナー 🍁🍁🍁🍁🍁

1階児童書コーナー

2階一般書コーナー

貸出回数0回の本 君のお気に入りを探そう！掘り出し本

「BACK TO THE 沖縄書店大賞」、「ショートショート特集」

館長通信 VOL.44 「茨木のり子」について

知人から沖縄で「茨木のり子」の朗読会を開催したいという話がありました。この詩人については、ご存じの方が多いと思います。しかし恥ずかしながら、私はその時「イバラギノリコ？はて、覚えのある名前だけれど、どこで見たのかな」と思っただけでした。ネットで調べてみると、茨木のり子は1926年に生まれ、2006年に亡くなった方で、『対話』（1955）、『自分の感受性くらい』（1977）、『寄りかからず』（1999）等の多くの詩集を出版されています。『猿さんがゆく』（1999）という山之口獏の評伝も書いています。現在も大勢のファンがいる詩人でした。1945年の終戦時彼女は19才。「わたしが一番きれいだったとき」はその頃の彼女自身を描いた作品です。この詩の5・6節は「わたしが一番きれいだったとき わたしの国は戦争で負けた そんな馬鹿なことってあるものか ブラウスの腕をまくり卑屈な町をのし歩いた」「わたしが一番きれいだったとき ラジオからはジャズが溢れた 禁煙を破ったときのようにくらくらしながら わたしは異国の甘い音楽をむさぼった」です。その時代・場所にいた訳でもないのに、強い日差しの中戦後の少し埃っぽい街を歩いているような気持ちになりました。この作品の他にも戦争に関わる詩をかなり書いています。朗読会はこれらの詩を中心に、12月下旬に平和祈念資料館で開催する予定との事。興味をお持ちの方は参加されては如何でしょうか。